

# 診断書（視覚障害関係）

この診断書は、大学入試センター試験において志願者の希望する受験上の配慮事項を審査するための資料となりますので、できるだけ具体的に記入してください。

氏名	昭平 和成	年 月 日生	性別 男・女
住所			
診断名			
視力	右 _____ ( _____ x _____ D Cyl _____ D Ax _____ )		
視力	左 _____ ( _____ x _____ D Cyl _____ D Ax _____ )		
現症の記入に	<p>○ 視野障害により試験時間延長（1.3倍）を必要とする場合は、裏面に現症を記入の上、必ず視野コピーを添付してください。</p> <p>○ 視力・視野以外の視機能障害（眼球振盪、近見視力等）、その他参考となる経過・現症も記入してください。記入しきれない場合は、裏面に記入してください。</p> <p>志願者の希望する主たる受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、必ず記入してください。</p>		
現症			
症			
<p>上記のとおり診断する。</p> <p>令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p>医師の氏名 _____</p> <p>印 _____ (診療科名 _____)</p> <p>医師の勤務先 _____</p> <p>所在地・電話番号 _____</p>			

過年度のものなので、使用しないでください

(キリトリ線)

○ 視野の現症（試験時間延長(1.3倍)を必要とする場合）

※ 視野コピーを必ず添付してください。

なお、ゴールドマン型視野計を用いた視野図を添付する場合には、どのイソプタが1/4の視標によるものか、1/2の視標によるものかを明確に区別できるように記載してください。

※ 矯正視力が0.15以下の場合、視野コピーの添付及び視野の現症の記入は必要ありません。

※ 障害者手帳交付のための認定基準(平成30年7月1日施行)に準じて測定してください。

ゴールドマン型視野計

(1) 周辺視野の評価 (I/4)

① 両眼の視野が中心10度以内

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右										度(≤80)
左										度(≤80)

② 両眼による視野が2分の1以上欠損 ( はい ・ いいえ )

(2) 中心視野の評価 (I/2)

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右									①	度
左									②	度

過年度のものなので、  

$$\frac{\text{両眼中心視野角度 (I/2)} \times 3 + \text{両眼開放視認点数}}{4} = \text{度}$$

又は

自動視野計  
 (1) 周辺視野の評価  

$$\frac{\text{両眼開放エスターマンテスト} + \text{両眼開放視認点数}}{2} = \text{点}$$

(2) 中心視野の評価 (10-2プログラム)

右	③	点 (≥26dB)
左	④	点 (≥26dB)

両眼中心視野視認点数  

$$\frac{(\text{③と④のうち大きい方}) \times 3 + (\text{③と④のうち小さい方})}{4} = \text{点}$$

(現症記入欄)